

21世紀環境先進都市の創造をめざして

えこ〜つつしん

平成18年(2006)9月14日 編集発行：出雲市役所環境保全課 (TEL 21-6535・FAX 21-6597)



廃食用油軽油代替燃料化施設



平田生活バス。排気ガスは天からの香りがします

現在、各家庭で回収の協力をされていると思いますが、全体的にまだ回収量が少ないそうです。合併を機に、この事業の輪がもっと広がったらいなと思います。

なお、精製施設を見学したい方は、平田支所市民生活課(566)まで連絡してください。

「鍋帽子」は、布と綿で作る「保温調理用具」です。

大社友の会で6月に講習会をしたところ、延べ50人もの受講者があつたそうです。

一番の魅力は、電気・ガスの節約と換気扇不使用により、二酸化炭素が削減され、環境に優しいうえ、家計と時間も節約できることです。

「ご飯や煮物、蒸物など煮崩れせず、吹きこぼれや焦げつきもない。しかも手作りです。料理も楽になり家族も喜ぶなど、いいこと尽くしです。参加者からは、「手作りは楽しい。料理もつまみいき、省エネに関心が深まり、楽しく家事ができるよ



手作り鍋帽子。上手にできました

「取材/飯塚特派員」

うになった」などの感想が聞かれました。

何でもお店で間に合う便利な世の中になりましたが、手作りの温かさは誰もがほっとすると思います。

家庭のエコ生活は、家族の会話を通して、みんなで環境に優しい暮らしを考え、実践していくことです。それが人を育て、良い地域・社会につながると思います。

私も一つひとつ丁寧に暮らしていきたいと思っています。

鍋帽子のおたすね
大社友の会
森山恭子さん
(5055)

(取材/坂本特派員)

市からのお知らせ

中海・宍道湖ラムサール条約シンボルマーク募集のお知らせ

両湖の自然の豊かさや素晴らしい景色を広く伝えるため、鳥根県と鳥取県ではシンボルマークを募集します。

なお、応募方法など詳しくは、鳥根県自然環境課までおたすねください。

応募資格
どなたでも応募できます
応募方法 次のものを郵送
・A4白色用紙に描いた作品(電子データはCD-Rに保存したものと、A4に出力したものと両方)
・簡単な説明文
・住所、氏名、電話番号を明記したものを
応募期限
10月2日
(当日消印有効)

表彰
・最優秀賞1点(賞金20万円、5万円相当の地域特産品)
・優秀賞2点(賞金3万円)
応募先・おたすね
〒690-8501
松江市殿町1番地
鳥根県 自然環境課
(0852-5347)

くらしの中の環境フェア2006を開催します!
~はじめよう ひろげよう 身近なリサイクル~

お知らせ
次のものを当日お持ちください。景品と交換します。
廃食用油 ペットボトルに、揚げかすなどをよく取り除いて入れてください。
飲料用空き缶 10本以上。
古紙類 5kg程度。

ほかに盛りだくさん!
3R推進コーナー
環境保全推進コーナー
子どもエコクラブ紹介コーナー
リサイクル自転車販売
受付10時~13時、抽選13時
環境関連事業所紹介コーナー

各地区活動紹介コーナー
エコ劇場
ものづくり体験コーナー
おもちゃの病院
フリーマーケット

屋台コーナーもあるよ!

とき 10月1日(日) 10時~15時
ところ 長浜コミュニティセンター・西部体育館(長浜町)

主催：くらしの中の環境フェア実行委員会 共催：出雲市、出雲市環境衛生組合連合会、環境を考える女性の会

みんなで止めよう温暖化
「チーム・マイナス6%」に参加しています

環境新聞「えこ〜つつしん」第2号
をお届けいたします。
出雲市には、環境美化を市民のみなさんに啓発する環境特派員が6人います。
今号から環境特派員が地域での環境の取り組みなどについて取材した「環境特派員リポート」を掲載します。

自然体験のススメ①「星空の観察編」
日頃の生活のなかで、いちばん身近な自然体験といえば星空の観察です。
秋の夜長に夜空をながめてみましょう。漠然と並んでいる星も、星座早見盤を見ながらつないでいくと星座が浮かびあがってきます。
秋は明るい星が少なく星座が探しにくいのですが、ベガス座の秋の大四辺形やアンドロメダ銀河のあるアンドロメダ座などが見どころです。
ご家族や友人達とぜひ星座を見つけ合ってみてください。

星空観察に必要なもの
・星座早見盤(書店などで購入できます)
・懐中電灯 ・コンパス ・時計
・必要に応じて、双眼鏡や天体望遠鏡

家庭発・地球行き① ~地球のために家庭でできること~
家庭でできる地球温暖化対策

地球温暖化の原因となる二酸化炭素。わが国では全体の排出量の約14%が家庭からの排出といわれており、マイカーも含めると約20%にもなります。

それでは、家庭から出る年間の排出量はどれくらいなのでしょう。なんと1世帯あたり約5,600kgで、これを吸収するのに必要な森林面積は0.5ha(サッカーグラウンド1面、杉の木400本分)に相当するといわれています。

では、どうすれば家庭での排出量を削減できるのでしょうか。それは、次の6つのポイント、家庭でのちょっとした心がけで可能なことです。地球にも家計にも優しいので、ぜひ実践してみてください。

【家庭でできる6つのポイント】

1. 冷暖房の温度を控えめに、フィルターはこまめに掃除しよう!
2. 蛇口はしっかりしめて、お風呂の残湯は洗濯などに使おう!
3. 家電製品を購入するときは、省エネ型を選ぼう!
4. マイカーの自粛と、アイドリングストップを心がけよう!
5. 使っていない家電製品はコンセントから抜こう!
6. 市の「家庭版環境ISO」に登録しよう!

環境特派員レポート
自分たちのまちを自分たちの手で美しく! **環境ボランティア「みやまえの会」**

美しい海と白亜の灯台。そして荘厳な日御碕神社で名高い日御碕地区で、環境ボランティア「みやまえの会」が発足しました。

この会は、町内の有志で結成され、高木昇会長ほか19人で活動を行なっています。

先日、日御碕神社周辺と灯台遊歩道を清掃し、花の苗を植えるなど、早朝から熱心に作業をしていました。

活動を取材して、「美しいまちの実現ためには、ポイ捨てをしないよう一人ひとりの心がけ

廃食用油は回収されると何になるの?

市が回収している廃食用油。その油から手作りせっけんができることは良く知られています。が、自動車の燃料として再生利用されていることは、意外と知られていないのでは無いでしょうか。

住民の交通手段として活躍する平田の生活バス5台は、精製した油で動いています。

精製施設を取材したところ、次のようなことが分かりました。

クリーンエネルギー
ごみ減量化
資源の再生利用
地球温暖化防止対策

★ワンポイントアドバイス★ 使用済み蛍光灯のリサイクルを行っています! 回収にご協力ください
埋立てごみの日に指定袋とは別に蛍光灯の箱に入れて出しましょう。複数あるときはひもで絡んでください。